

第2次弥富市総合計画後期基本計画 (改正骨子案－施策ごとの検討課題の整理) 概要

以下の4点の基礎資料について、施策展開に繋がる主なものを整理。

1 市民アンケート(p.2-4)

市政への満足度評価と重要度評価を相関させ、施策の優先度を算出すると、①道路・交通網の充実(12.01点)、②防災対策の推進(11.98点)が高い結果となり、これらは、市民にとって重要度が高い一方、満足度が比較的高くないと言えます。

2 市民ワークショップ(p.5-11)

- 基本目標1 ➡ 若者の災害対策への意識や知識が不足しており、啓発活動による危機意識の向上が必要／消防団の新入団員確保
- 基本目標2 ➡ 子育て世代の負担軽減のため、保育所等での預かり時間拡大／フレイル、介護予防の充実により健康寿命を延ばす
- 基本目標3 ➡ スポーツイベントの発信力が弱いため、SNS等により素早く発信する／話題性の高い大規模イベントの開催
- 基本目標4 ➡ 地産品の販売を目的とする場所の設置／道の駅をつくる／駅前に市場・マーケットをつくり商店街の活性化・オシャレ化／農・商・工に関する戦略を立てる
- 基本目標5 ➡ 人口減となる未来の姿をイメージしたまちづくり／コミュニティバスの本数、ダイヤ、停留所等の見直し／駅周辺に公園や広場がないため、新たに作る
- 基本目標6 ➡ 安定した財源の確保／コミュニティ同士の交流により地域活性化／IoT整備を行い、市民に対して素早い情報提供

3 前期基本計画の評価(p.12-13)

昨年度までの3か年(令和元年度～3年度)の施策評価結果及び成果指標達成度を点数化したところ、基本目標1【生活環境】が82.4点と最も高く、一方、基本目標3【教育・文化・スポーツ】が57.8点と最も低い結果となりました。特に、生涯学習の充実、スポーツの振興、文化・芸術の振興において達成度が低くなっています。

4 時代潮流(p.14-15)

- ・感染症・災害・犯罪リスクの増大(風水害の激甚化、高齢者に関わる交通事故や犯罪増加)
- ・人口減少の進行、人生100年時代の到来(医療・介護需要の増大、労働力不足の深刻化)
- ・暮らし・労働・学びの多様化(LGBTQ+など性の多様性認識、ICTを活用したサービス展開)
- ・共助社会の必要性の増大(社会的な孤独、情報格差の拡大、地域コミュニティの担い手不足)
- ・第4次産業革命の進展(産業構造の変化等に伴う人々の働き方変化、Society5.0の実現)
- ・スーパー・メガリージョンの形成(リニア中央新幹線による人口7千万人の巨大経済圏形成)
- ・脱炭素化の進展、循環型社会への移行(持続可能な再生可能エネルギーが主力電源へ)

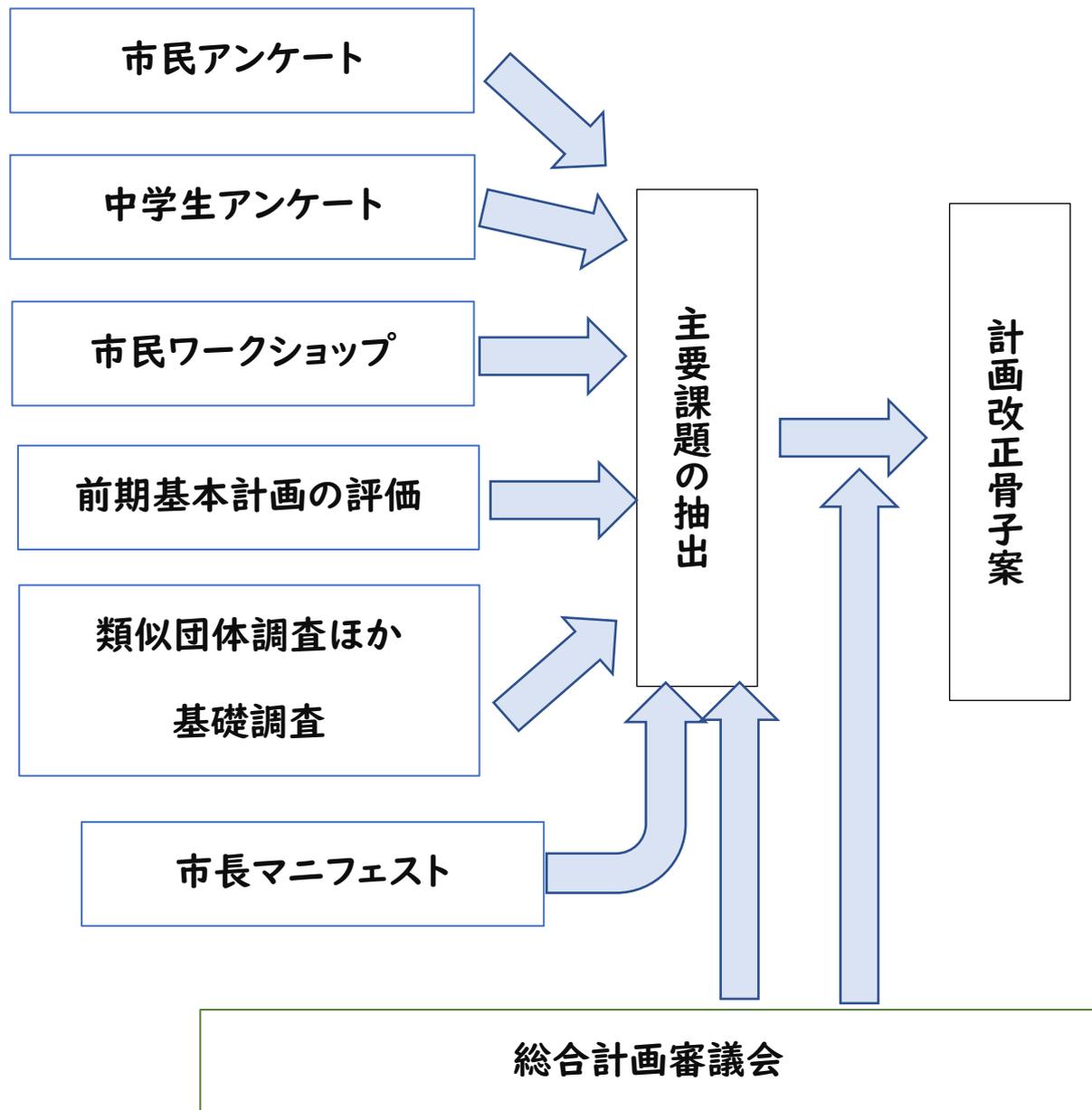
(詳細は別紙)

**第2次弥富市総合計画後期基本計画
(改正骨子案-施策ごとの検討課題の整理)**

目次

1. 後期基本計画改正骨子案の検討過程.....	1
2. 市民アンケート	2
(1) 市政に対する評価.....	2
(2) これからのまちづくり	4
3. ワークショップの結果から課題の抽出	5
(1) 生活環境分野(基本目標1)	5
(2) 健康・子育て・福祉分野(基本目標2)	6
(3) 教育・文化・スポーツ分野(基本目標3)	7
(4) 産業・雇用分野(基本目標4)	8
(5) 都市基盤分野(基本目標5)	9
(6) 協働・行財政分野(基本目標6)	10
4. 前期基本計画の評価.....	12
5. 時代潮流	14
(1) 感染症・災害・犯罪リスクの増大	14
(2) 人口減少の進行、人生100年時代の到来	14
(3) 暮らし・労働・学びの多様化.....	14
(4) 共助社会の必要性の増大.....	15
(5) 第4次産業革命の進展.....	15
(6) スーパー・メガリージョンの形成.....	15
(7) 脱炭素化の進展、循環型社会への移行	15
6. 基本構想と施策体系	16
7. 基本目標別課題の抽出と施策への展開	17
基本目標1【生活環境】.....	17
基本目標2【健康・子育て・福祉】.....	18
基本目標3【教育・文化・スポーツ】.....	19
基本目標4【産業・雇用】	20
基本目標5【都市基盤】.....	21
基本目標6【協働・行財政】	23

1. 後期基本計画改正骨子案の検討過程



2. 市民アンケート

(1) 市政に対する評価

①満足度

満足度については、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は、「消防・救急体制の強化」が47.2%と最も高く、次いで、「子育て支援の充実」(39.5%)、「健康づくり・医療体制の充実」(38.7%)、「上下水道の充実」(37.2%)、「道路・交通網の充実」(36.6%)などの順となっています。

また、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満』は、「電車・駅関連施設の利用しやすさ」が30.9%と最も高く、次いで、「道路・交通網の充実」(30.8%)、「観光の振興」(30.7%)、「上下水道の充実」(24.8%)、「市街地の整備」(23.9%)などの順となっています。

■満足度『満足』 上位5項目

項目		%
1-②	消防・救急体制の強化	47.2
2-①	子育て支援の充実	39.5
2-③	健康づくり・医療体制の充実	38.7
5-①	上下水道の充実	37.2
5-②	道路・交通網の充実	36.6

■満足度『不満』 上位5項目

項目		%
7-③	電車・駅関連施設の利用しやすさ	30.9
5-②	道路・交通網の充実	30.8
4-③	観光の振興	30.7
5-①	上下水道の充実	24.8
5-④	市街地の整備	23.9

②重要度

重要度については、「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は、「防災対策の推進」が84.1%と最も高く、次いで、「防犯・交通安全対策の推進」(81.0%)、「消防・救急体制の強化」「道路・交通網の充実」(同率79.2%)、「治水対策の充実」(76.9%)などの順となっています。

また、「どちらかといえば重要でない」と「重要でない」を合わせた『重要でない』は、「観光の振興」が11.6%と最も高く、次いで、「文化・芸術の振興」「コミュニティの強化」(同率6.6%)、「スポーツの振興」(6.5%)、「生涯学習の充実」(5.4%)などの順となっています。

■重要度『重要』 上位5項目

項目		%
1-①	防災対策の推進	84.1
1-③	防犯・交通安全対策の推進	81.0
1-②	消防・救急体制の強化	79.2
5-②	道路・交通網の充実	
5-③	治水対策の充実	76.9

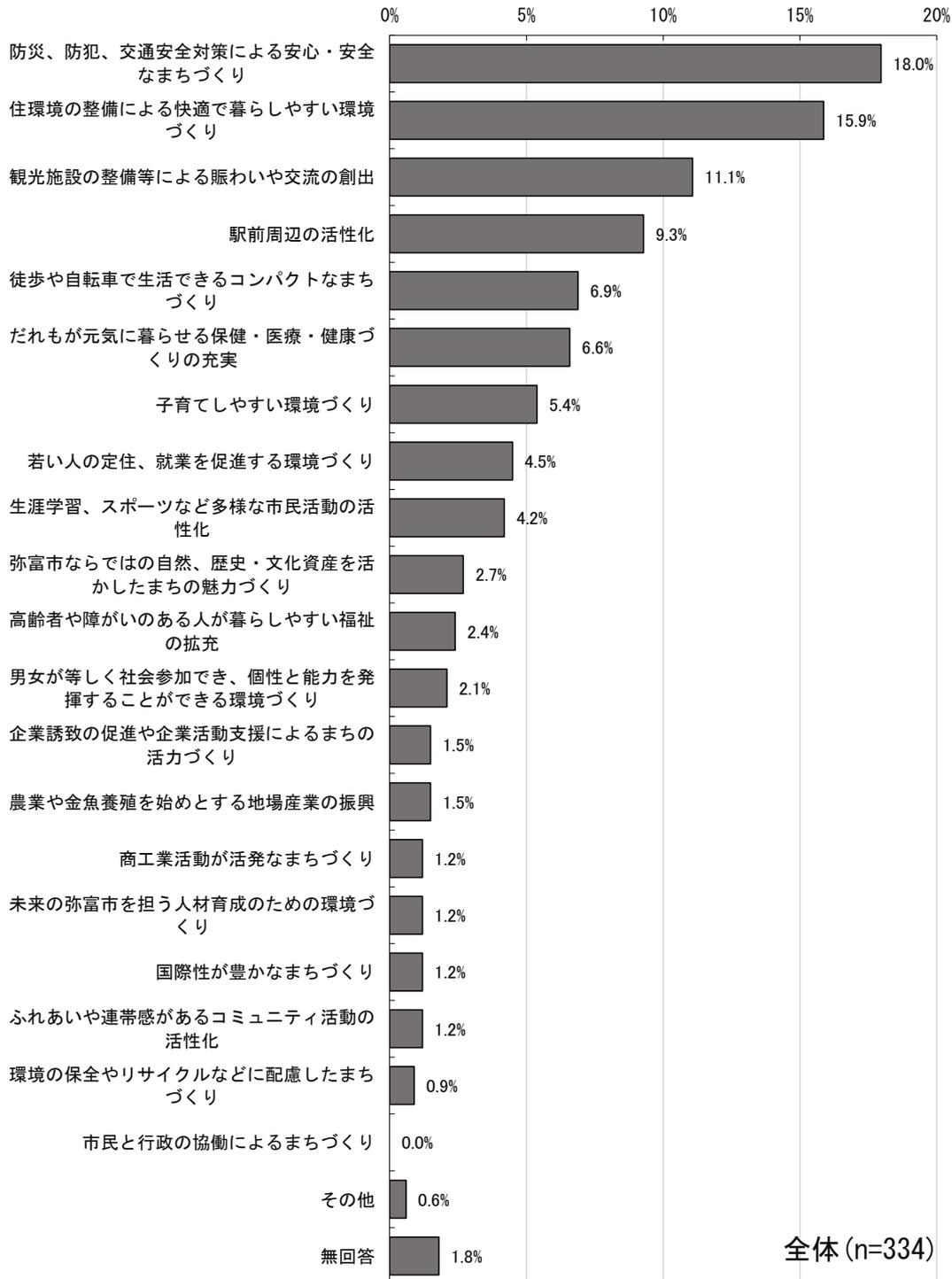
■重要度『重要でない』 上位5項目

項目		%
4-③	観光の振興	11.6
3-④	文化・芸術の振興	6.6
6-⑥	コミュニティの強化	
3-③	スポーツの振興	6.5
3-②	生涯学習の充実	5.4

(2) これからのまちづくり

弥富市が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるための1番目に必要な取り組みについては、「防災、防犯、交通安全対策による安心・安全なまちづくり」が18.0%と最も高く、次いで、「住環境の整備による快適で暮らしやすい環境づくり」(15.9%)、「観光施設の整備等による賑わいや交流の創出」(11.1%)、「駅前周辺の活性化」(9.3%)、「徒歩や自転車で生活できるコンパクトなまちづくり」(6.9%)などの順となっています。

【弥富市が、もっと住みやすく、魅力的なまちとなるために必要な取り組み】



3. ワークショップの結果から課題の抽出

(1) 生活環境分野(基本目標1)

課題とやるべきこと
<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○津波を経験した人以外の若者の災害対策への意識や知識の不足。伊勢湾台風を経験した人が高齢になってしまっていて危機意識が低下している。 ○海拔ゼロメートル(高台少ない)、浸水対策が必要。 ○避難所が少ない、避難場所避難所の確保のため、安全・高い建物・目印をつくる。市外と連携し、避難所の確保。 ○公園を避難場所として利用できるように整える。 ○避難訓練の実施。自分の街は自分たち維持発展させる⇒基本の自治会・自主防災会が活動しやすくする。ヒト・モノ・カネを確保する。 ○寺院や神社を避難所とし、防減災訓練の場として役立てる。 ○ゴミ焼却場が港で働く人の避難所で、安心なので他の公共施設の利用を工夫する。
<p>【消防・救急】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消防団員(新入会員)の不足。消防団員になったら弥富市内の飲食店割引。 ○救急車が通れる道路幅を確保してほしい。
<p>【防犯・交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防犯対策への危機意識が低い。防犯・交通安全に対する市民満足度が低すぎる。 ○防犯カメラが少ない。 ○防犯コミュニティ不足、近隣の事情がわからない。不審者が多い。 ○通勤・通学ラッシュ時、踏切近辺が自転車 自動車の区別がなく、危ない!! ○自転車の交通ルールが県や市によって違うので弥富市ではどのようなルールなのか周知されていない? ○車に乗ってる時に周囲が暗いため、対抗車のライトで歩行者が見えない。 ○街路灯の数を増やしたり、明るくするように電気をつける。クリスマスなど季節によって光を増やしたりもしてみる。夜に営業するお店を増やす。 ○通学路をつくり、時間帯で通行できるよう配慮してほしい!!道路ができてるのに通れない。 ○交通安全教室を活発に行う。 ○車道と歩道を分けるような線を引く。生活道路内の速度を少し規制してはどうか。通学路狭い 自転車危ない。通学路が暗い。自転車預所を撤去!→ビルに集める。
<p>【環境対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生ゴミ乾燥機の補助金(若い世代が使うもの)の導入をしてほしい。学校・市役所でセミナー開催。 ○ごみステーションが不衛生、ゴミ箱(業務用)の導入。ゴミが分別しやすいようなりサイクルボックスを配置する。ゴミ置き場を鉄製に。ゴミ回収の時間帯を知らせる!!ネットや網以外の Box を作ってみたり、他の方法を試してみる。 ○ポイ捨て条例の制定。

(2) 健康・子育て・福祉分野(基本目標 2)

課題とやるべきこと
<p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none">○保育園・幼稚園定員割れ-20人のところ 8/10カ所。○保育園・幼稚園定員割れ-約半分のところ 4/10カ所。○保育時間が短いと感じる世帯もある 子育て世代の負担軽減。○病児・病後児保育の件数 すくなすぎる 8件/年!?
<p>【高齢者】</p> <ul style="list-style-type: none">○一人暮らしの高齢者が増え、空き家問題が発生する。空き家の有効活用を図る。○フレイル、介護予防の充実により健康寿命を延ばす。○認知症高齢者の増加。家族や身内に当該者がいないと認知症に対するイメージがわからない、深刻さや苦労は解らない。他人ごとになっているが、自分ごとにしてできるように。○認知症予防に有効なこと・体を動かす・脳トレ 無理なくできる仕組みづくりを進める。○若い世代と年配の方の交流を増やす。○一人暮らし高齢者の見守り活動を活発化する。○ワクチン接種中に脳トレ。○生涯学習における指導者の指導年数を引き上げ、それに従事することで高齢者の認知症予防を図る。
<p>【健康づくり・医療】</p> <ul style="list-style-type: none">○北部に病院が集中している分、南部住民は不安。北部と南部で病院数に「差」がある。○病院の当日予約が出来ない。慢性期病院が少ない。○被保険者1人当たりの医療費が増加している。生活習慣病で亡くなる方が増加している。○薬物依存・DV防止対策講座の実施が必要。
<p>【障がい者】</p> <ul style="list-style-type: none">○障がい者(知的)グループホームが不足している。
<p>【地域福祉】</p> <ul style="list-style-type: none">○きんちゃんバスのバス停位置が…。もっと多くしたほうが便利なのは。○多問題を抱えた家族が増加し、低所得につながり、→ひいては、子の教育格差→貧困から→DV、薬・アルコール依存症へとつながっている。○いわゆる 生活困窮者、貧困、高齢など、困っていても声を出せない方への支援ができていない、サイレントプア。○福祉制度にかからない間(ハザマ)の人への支援がない。○ボランティア団体が少ない。小さい団体に補助金がない。ボランティアの認知度が低い。ボランティアの楽しさ、魅力をもっとアピールする。○福祉制度があっても周知がされていない。福祉制度の複雑さ。困りごとに対して何をどうすればよいのか解らず立ち止まる人たちが存在する。○ハード面(福祉施設)の整備、マンパワーの確保、財源は?助成金・クラウドファンディングなども。○地域格差を解消するための仕組みづくり、交通手段の確保・乗り合いバス、タクシー・買い物支援スーパーとの協働。声を出しやすいような ご意見箱(SNSで募集?)を作る。○困りごとに対して対応できる公式SNS等を実施。ボランティアの楽しさ 魅力をもっとPR。

(3) 教育・文化・スポーツ分野 (基本目標3)

課題とやるべきこと
<p>【学校教育】</p> <ul style="list-style-type: none">○スクールソーシャルワーカーの不足。民間フリースクールが少ない 選択出来ない。○学校教育でのICTタブレットの導入が進んでいない。ICTタブレット導入率の明確な目標が無い(10%)。ICT教育。○小学校への空調設備設置(数)。○弥富市内に幼稚園がない。○親子参加型の体験学習講座の参加人数の目標値が曖昧。○保小中のトイレをすべて洋式化する。○小・中学校への通学が遠い。
<p>【生涯学習】</p> <ul style="list-style-type: none">○図書館利用者数が目標値よりも低い。図書館が古い。○生涯学習の提供→高齢者から若者にどう伝えていくか。定年退職後に強制的に学習環境を提供する。
<p>【スポーツ】</p> <ul style="list-style-type: none">○スポーツ行事の回数が増えていない。スポーツイベントの発信力が無い。○スポーツ協会に入会している数に対して活動場所が少ない。○スポーツセンターの利用条件が厳しい。スポーツ施設の場所があまり知られていない。○中学生以上のスポーツチーム数が少ない。○子ども向けのスポーツイベントが少ない。○なぎなたの広まり方が弱い。ニュースポーツを流行らせる(ボッチャなど)。○「野球部」を強く→野球少年を増やし、弥富=野球の認知度↑。
<p>【文化・芸術】</p> <ul style="list-style-type: none">○弥富市の文化とは…すぐ思いうかばない。○文化協会の部員数が緩やかに減少している。文化協会既存団体に既得権があり、協会加盟メリット(施設減免)デメリット(後継者不足)。○高齢化により、文化協会登録者は減少が加速しそう。○祭りの規模が小さい。いろいろな活動があっても知らないことが多い。○話題性の強い大規模イベントの作成。イベントが少ない。お祭りもいっぱい 各町内の祭を順にもってくる。

(4) 産業・雇用分野(基本目標4)

課題とやるべきこと
<p>【農水産業】</p> <ul style="list-style-type: none">○金魚産業・文鳥産業→ 撤退戦略○農業→ZOOM 法人化 IoT の活用。耕作放棄地の解消方法(受託農家に安く売って)。○金魚に代わる個性的な産業がない。金魚農業商品などの地産品の発売を目的とする場所の設置。○円安に対応し農業関連の補助を(輸入飼料など)。スケールメリットを農業に+IT活用。○農, 工, 商 各々の目標と戦略を立てる。○産業 農業 各家庭・町内会と農家, JAとLINEでつないで直送システムをつくる。○農, 工, 商の地域を定めて戦略を立てる。○産業 ゼロメートル地帯なので道の駅に防災センターを併設し, おいしい非常食食堂や売店をつくる。○弥富は=農業立国へ =経営=。農地の管理ができていない 草だらけです。○日本一のコンテナの輸出入をいかした流通産業を発展させる。○農水産業について学生が触れる機会がない。○産業 先進 宇宙産業地。
<p>【商工業】</p> <ul style="list-style-type: none">○名産物の市外へのPRが少ない。特産品がない, 特産品を開発(黒豆・枝豆など)。○娯楽施設が少なく, 飲食店が少ない。○名古屋競馬と連携した商業振興策がない。○栄南地区の倉庫運送業をいかした物流を発展させ中部全域を世界につなぐ。まちの活力 港湾地域の産業, 工業地化の他→物流・産業の拠点化する全国の交通の中心として整備する。○産業 ①海・川=港 高速道2本 ⇒ 日本の交通と輸送の拠点として宣伝する。○弥富に道の駅を。観光地にカフェがない! 木曾川遊覧・夕日の見えるカフェ。カフェなどの飲食できる場所を観光する場所がないと人は集まらない。○競馬場と屋台村をおしゃれに。○商業 駅前にパディ型の市場・マーケットをつくり商店街の活性化おしゃれ化につなぐ。○商業 障害者, 弱者の働き場があり, 店もあるので, 集約し, 話題化する又はスタンプラリー ひまわり。○ゴミ焼却場の近くに温泉施設。○若者(20代)から見たとき飲食店が少なく, 空き家を飲食店として活用する。
<p>【観光】</p> <ul style="list-style-type: none">○観光目玉を!(川と鉄道はどう?)。○観光資源を市民自身が知らない。観光に力を入れる必要。○観光? 推進する必要性は?○公園→整備・メンテナンスを行い, 木曾川川原の有効活用。○観光のニーズを分析・把握すること。○観光 資源として 野鳥園, 港, サイクリングコース NHK放送塔, 消防署 排水機場, し尿処理場 墓地 焼却場 ⇒就活, 終活にする。
<p>【雇用対策・勤労者福祉・消費者保護】</p> <ul style="list-style-type: none">○担い手不足。農水産業の担い手不足。○創業支援策に特筆すべきところがない(市・商工会)。商工会議所が頼りにされていない。起業への補助金を増やす 年数も。起業を市・行政が手伝う⇒方法, 援助, 資金。

(5) 都市基盤分野(基本目標5)

課題とやるべきこと
<p>【上下水道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道代が弥富市は高い 愛知県の中でも高いとクリーンテックさんより聞きました。 ○水道水の質が一番良い! 質の確保と継続。 ○節水の呼びかけ。水道水の確保 おいしい水を飲み続けられるように。 ○年間契約にて水道水を確保している。災害時用の水を買って保管している。上下水道の遅れている所を進んで整備。 ○下水道の整備は計画通り進行している 進行していく 予算内に整備する。○下水道の整備がいまいち。上下水道の整備のムラがある。
<p>【道路・交通網】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅前の横断歩道がわかりにくい。 ○JR・名鉄から近鉄への乗り換えが分かりにくい。 ○駅周辺が暗い。歩行者道路がない。道路がせまい。車道と道路が区別されていない。歩道がない場所が危ない。 ○ゴミ置場が歩道で危ない!! ○川沿いから住宅街の歩道が少ない。 ○車道が狭く交通渋滞が起きやすい。 ○弥富駅北側周辺の整備。雨天時にロータリーが混み合う。 ○駅前の横断歩道に信号をつけるようにする。放置自転車の整備。電子案内板を設置する。 ○区画整理により、道路を広く。 ○コミュニティバスの活用方法について使用度など。老朽化(バス)。バスの本数少ない。 ○利用しやすいコミュニティバスを考える 時間帯など。バスの本数(時間帯 平日)ダイヤの見直し。タクシー会社と提携して、市内割引券を作る。バスの値段を下げる。 ○駐車場所の見直し。バスを一度なくす。その後必要な停留所をつくる。 ○JR名鉄の東西の国指定危険踏切に歩道をつくり、弱者、歩行者自転車の安全を図る。 ○駅周辺の再開発。
<p>【治水対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○津波時浸水?? 排水設備の更新 雨水があふれると問題 災害対策。 ○液状化対策を将来のコンパクトシティ化を考えて計画する。
<p>【市街地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市の案内図がない!(標識がない)。 ○街灯が車道付近しかない。 ○駐輪場がいつも満員。
<p>【公園・緑地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅の近くに公園や広場がない。公園の老朽化。公園の見直し。駅の近くに公園を作る。 ○緑地が土地の割に少ない。遊べる場所少ない。
<p>【住環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シャッター商店街がある。今から 20 年後、50 年後の人口減した弥富市の姿をイメージした街づくり(スマートシティ)を考える。
<p>【港湾地域等の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンテナターミナル危険??

(6) 協働・行財政分野(基本目標 6)

課題とやるべきこと

【行財政】

- 重点課題への対応が不明。
- クラウドファンディングの実施+プラス講座の実施。
- SNS運用のために部署を作る。
- 予算の内訳を明確にする。
- 民間企業との「提携」。
- 大きな発展を考えれば少なくとも尾張全体が一体となっていく必要が?。市外と連携。
- 行政のスピード感。市職員のイノベーション向上のため職員の安全・安心がある市政を求める。
- 職員提案の実現率が低い。
- 合併してもそれぞれの地域のことをわかっている人を配置する。
- 市役所でできることを自治会に丸なげしない。
- 行政サービスが周辺自治体の後追いが多い。
- 行政の進め方 PDCA+OODA (DX)。
- 総合計画は弥富市における最上位の計画ですがすばやくPDCAするためのデジタル化が必要。
- YTMeeting 費用対効果。
- 市の積立金を増やし緊急の支出に対応する借金は減らす。
- 財政問題。予算配分は適切か? インフラ設備に充てる財源。補助金だのみ。安定した財源の確保。
- 財政状態がわからない。
- 特定行政職員を創設。
- 出生率向上のためネックとなっている教育費を増加し教員の加配。
- 中高大生への補助
- 公共事業に関するコスパ感覚がおかしい。
- 公共施設の老朽化。公共施設の柔軟な運用ができてない。持続可能な財源のためPDCAからJR名鉄駅計画は廃止し、使い方を変更する。
- ワークショップの提言のPDCAはどうなっているか。空家の状況は把握していますか? 不動産に空き家の土地を売る。
- 市職員が専門家として自覚するリアルな実践ができるイノベーション向上のため外部交流を深め身分保障をする。
- 行政の施策に対して、評価方法を変える。
- 最上位の総合計画の常なるPDCAでスピーディーに現実にあわない計画は中止し必要な所にお金をまわす。
- スマホ(通信費)を貸与。年配者にスマホの使い方を教える。
- 市民の財政の理解を深める。
- 災害対策国から補助金がでるから市の仕事にするのではなく、住民に必要な施策をスピーディーに実行する。
- 公共施設を民間と管理する。不必要な公共施設を無くす。

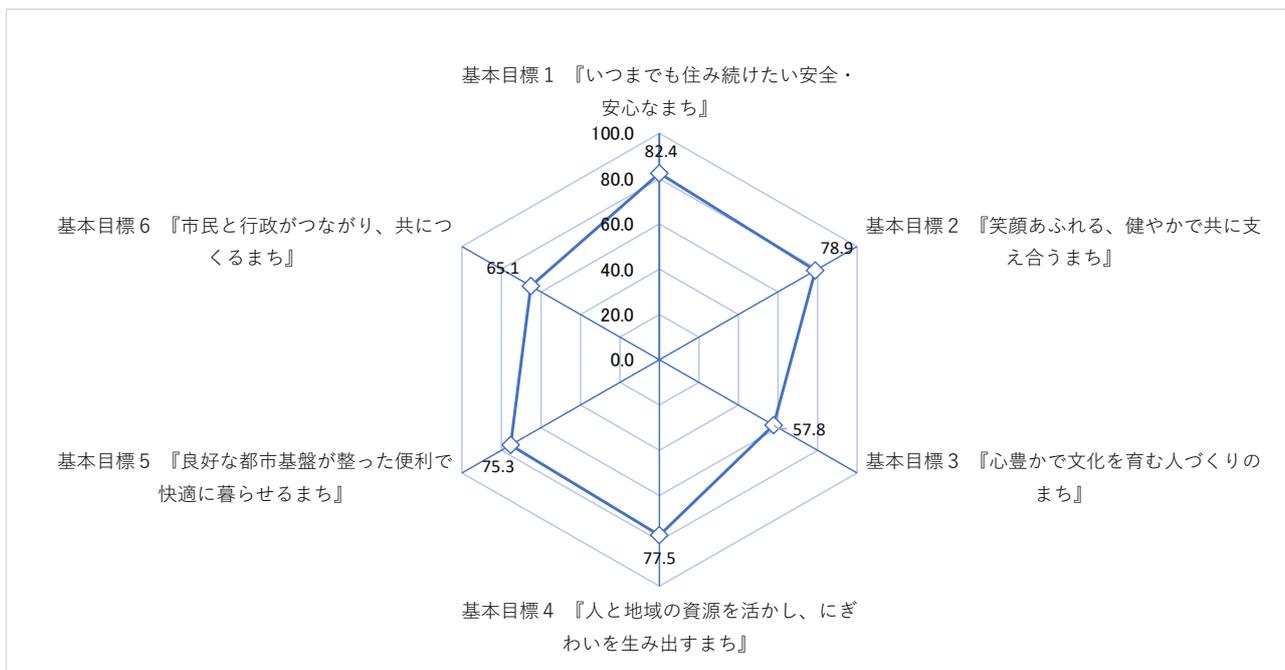
<p>【市民協働】</p> <p>○ヤトミーティングなど市民協働事業に対する議会の理解が足りない。行政（伝え方）と市民（無関心）の間のみぞ。市民参加のまちづくり・参加させる方法はお金かな。</p>
<p>【男女共同参画】</p> <p>○市職員や市議の男女比を同じにする努力をする（保育職は別）。女性の参画増の方法？（クウォーター制を）。</p>
<p>【人権啓発等】</p> <p>○一人一人を大切に人権を大切に。人権問題に関して相談窓口が分からない。外国人がこわい。</p>
<p>【多様な主体との交流・連携】</p> <p>○外国人のコミュニティお店住宅地づくり→労働力の確保</p> <p>○国際交流で互いを知る。外国の人が安心して来れるように公共施設に多言語翻訳機能をもたせる。</p>
<p>【コミュニティ】</p> <p>○高齢者と若者の交流が少ない。学生が高齢者と若者を繋ぐ策を立てる。○各コミュニティとの交流 知恵の交換をする。市民と市役所に距離感がある。</p> <p>○桜小の①あいさつ運動②いいところみつけを大人もまねしよう。</p> <p>○コミュニティの活性化 - 自助、共助、自分たちで自分の町を！ 市民が集まれる場所の選定。コミュニティ同士の交流をし、刺激をしあう。</p> <p>○町内ボランティアに現役世代が参加できる環境づくりをする。</p>
<p>【情報】</p> <p>○オンラインイベントを多く設置。弥富市出身で情報発信力を入れている方に協力依頼する。</p> <p>○IoT 整備を行い市民に対して素早い情報提供。情報共有の手段。</p> <p>○ITリテラシーがひくい。</p> <p>○施策の広報。</p> <p>○マイナンバーカードの普及と活用。市の情報セキュリティを高める。情報もれをおこしたとき、行政が責任をとり保障する。メリット／デメリットを広く知らしめる。</p> <p>○市民参画・協働へのRRが足りない。情報源の主体が広報誌や回覧板。市民の声を吸い上げきれてない。</p> <p>○市民の声をきくとは課題を実践すること。</p> <p>○30年後の人口財政（予想）を市民に知らせる。</p>

4. 前期基本計画の評価

後期基本計画の策定に先立ち、第2次総合計画前期基本計画に掲げる施策・事業等について、その達成度や今後の課題等に関する評価を、関係部署で実施しました。

施策評価結果を「政策分野」ごとに集計し点数化(注)してみると、基本目標1『いつまでも住み続けたい安全・安心なまち』の達成度が最も高い一方、基本目標3『心豊かで文化を育む人づくりのまち』、基本目標6『市民と行政がつながり、共につくるまち』の達成度が低くなっています。

◆評価結果の章(政策分野)別比較



基本目標	点数
基本目標1 『いつまでも住み続けたい安全・安心なまち』	82.4
基本目標2 『笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち』	78.9
基本目標3 『心豊かで文化を育む人づくりのまち』	57.8
基本目標4 『人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち』	77.5
基本目標5 『良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち』	75.3
基本目標6 『市民と行政がつながり、共につくるまち』	65.1

注)「施策評価シート」に基づくA～E ランキング結果(施策評価結果及び成果指標達成度A:90点、B:70点、C:50点、D:30点、E:10点として、評価項目の達成度(3年度間の全担当課の平均点)を算出。

評価結果を基本目標別にみると、下記のようになっています。

基本目標1 『いつまでも住み続けたい安全・安心なまち』
概ね順調に進捗していますが、環境対策の分野では、環境に関する取組の指針となる環境基本計画が策定できていないことなどの要因により達成度が低くなっています。
基本目標2 『笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち』
概ね順調に進捗していますが、健康づくりの分野では、健康フェスタが新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったことや、特定健診やがん検診等の健康診査受診率低下などの要因により達成度が低くなっています。
基本目標3 『心豊かで文化を育む人づくりのまち』
全体的に達成度が低い中、学校教育の分野では、個別施設計画に基づき、学校施設の長寿命化改修が計画的に行われていることや、GIGA スクール構想の実現に向け、1人1台のタブレット整備及びその利用促進が進んだことなどの要因により達成度が高くなっています。 一方、生涯学習の分野では、生涯学習施策の総合的な指針となる生涯学習推進計画が策定できていないことや、生涯学習活動をサポートする指導者・ボランティアの育成や確保、地域における活動の支援ができなかったことなどの要因により達成度が低くなっています。
基本目標4 『人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち』
概ね順調に進捗していますが、雇用対策の分野では、愛知県やハローワーク、地域若者サポートステーション等と連携し、就職相談や情報提供による啓発活動を行ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で雇用の促進が図れなかったことなどの要因により達成度は低くなっています。
基本目標5 『良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち』
概ね順調に進捗していますが、公園・緑地整備の分野では、公園・緑地の整備及び緑化を総合的、計画的に進めるため、その指針となる緑の基本計画が策定できていないことなどの要因により達成度が低くなっています。 また、港湾地域等の整備促進の分野では、新たなコンテナターミナルの確保や魚釣り公園の整備、木曾岬干拓地の都市的土地利用など、市単独では進められないことなどの要因により達成度が低くなっています。
基本目標6 『市民と行政がつながり、共につくるまち』
全体的に達成度が低い中、市民協働の分野では、審議会委員等において市民公募委員としての参画や、一部の行政計画策定の際にワークショップを開催するなど市民の参画・協働を図ってきましたが、全庁的に浸透していないなどの要因により達成度が低くなっています。 また、地域コミュニティの分野では、「新しい生活様式を取り入れた地域活動」及び「自治会・町内会加入促進ガイドブック」により、安心・安全な自治体活動に向けて情報発信を行ってきましたが、地域コミュニティのリーダーの育成や新しい人材の発掘については取り組めていないことなどの要因により達成度が低くなっています。

5. 時代潮流

近年、本市を取り巻く社会経済環境は様々な面で大きく変化しています。本計画策定において留意すべき、時代の潮流について以下に整理します。

(1) 感染症・災害・犯罪リスクの増大

- 新型コロナウイルスの感染拡大は全世界的な生命・財産、経済・社会への深刻な影響を及ぼしており、今後、グローバル化の更なる進行により、感染症に対するリスク管理が益々求められています。
- 南海トラフ地震が今後 30 年以内に発生する確率は 70~80%とされています。また、気候変動の影響による豪雨の頻発化や台風の大規模化、海面上昇等に伴い風水害の激甚化が懸念されます。
- 高齢化や外国人住民の増加により、災害発生時要配慮者の増大が見込まれ、高齢者に関わる交通事故や新たな犯罪のリスクの増加も懸念されます。また、サイバー犯罪も多様化・巧妙化しています。

(2) 人口減少の進行、人生 100 年時代の到来

- 国の人口は 2008 年をピークに、2040 年には約 1 億 1 千万人と減少する見込みとなっています。一方、本市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、約 25 年後の令和 27 (2045) 年には 37,610 人まで減少すると見込まれており、その一方で老年人口 (65 歳以上人口) は増加していきます。
- 医療の高度化 (再生医療・ゲノム医療) や健康意識の高まりにより、健康寿命が 3 年以上延伸することが見込まれます。しかし、特に 75 歳以上の人口が大きく増加することにより、医療・介護の需要が急速に増加することになります。
- 一方、生産年齢人口の減少に伴い労働人口は減少し、現在、人手不足であるサービス業や介護・医療の分野を中心に労働力不足が深刻化していくことが見込まれます。

(3) 暮らし・労働・学びの多様化

- 今後、生産年齢人口が減少し、女性や高齢者などの活躍が益々求められ、共働きや、定年延長、再雇用などが増加していくことが見込まれます。加えて、在留外国人が約 28 万人 (2020 年 6 月現在) と全国第 2 位の愛知県においては、在留資格「特定技能」などにより、今後、県内において、様々な国籍の外国人材の受入れが一層進んでいき、その影響が一層現れてくることが予測されます。
- 一方、LGBTQ+ など性の多様性が広く認識されるようになり、自分らしい生き方を求める動きも増えていきます。
- 新型コロナウイルスの感染防止対策として、テレワークや教育の ICT 環境の整備などが急速に広がりましたが、今後も ICT 化の動きが加速し、社会のあらゆる場所で ICT を活用したサービスが展開されていきます。
- 新しい技術の活用により、働き方やライフスタイルが変化していくとともに、様々な国籍の外国人市民の活躍が進むことで、社会で多様性を受け入れていく必要性が高まっています。
- AI やロボットの社会実装により、業務の省力化や無人化が進むとともに、新たな職種や職業が創出され、社会が求める能力も変化していきます。こうした変化に対応できる最新の知識やスキルを獲得するため、様々な形で学び直す (リカレント) 動きが広がります。

(4) 共助社会の必要性の増大

- ライフスタイルの多様化が進み、未婚化や核家族化の影響を受け、単身世帯は今後も増加していくことが見込まれます。特に、高齢単身世帯は、2040年には、その比率の高まりが予測されます。
- 医療や介護、日常生活の支援に対するニーズが増加し、男性高齢者を中心に社会的な孤独の問題が懸念されます。また、ひとり親家庭は、依然として多くなり、さらに、非正規雇用の人々の高齢化により、生活が不安定化する層の増加が見込まれます。
- ICTを活用したサービスが急進展する中、ICTの環境が整っていない地域や家庭で、便利なサービスや必要な情報が受けられないといった情報格差の拡大が懸念されます。
- そのため、地域での共助の必要性が拡大していく一方で、生産年齢人口の減少に加え、女性、高齢者の労働参加が進むことで、地域コミュニティの担い手不足が深刻化していくおそれがあります。

(5) 第4次産業革命の進展

- AI、IoT、ロボット等に代表される技術の革新がもたらす第4次産業革命の進展により、先端技術が経済活動を始め、幅広い分野において活用され、新たな製品やサービスが生み出されることで、産業構造の変化や社会の変革が誘発され、人々の働き方を変えていくことが想定されます。
- 第4次産業革命を達成した国が飛躍的な発展を遂げることが見込まれる中、我が国でも、こうした先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会「Society5.0」の実現が見込まれます。

(6) スーパー・メガリージョンの形成

- オンラインでの交流が進んでも、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションは重要であり、サイバーとフィジカル両面の交流で、イノベーションの創出や信頼関係が醸成されていきます。
- リニア中央新幹線により、世界最大規模の人口7千万人のスーパー・メガリージョンが形成され、愛知県はその中心に位置する地域となります。また、名古屋駅を起点とした2時間圏人口は、品川駅、大阪駅を超え、国内最大となると予想されます。

(7) 脱炭素化の進展、循環型社会への移行

- 地球温暖化対策として、2015年に採択された温室効果ガス削減の国際的枠組であるパリ協定を契機に、世界で脱炭素化に向けた取組が行われ、化石燃料による発電が縮小し、持続可能な再生可能エネルギーが主力電源となっていくことが見込まれます。
- 世界の急速な人口増加に伴う影響や深刻化する気候変動、経済格差の拡大など相互に絡み合う課題を同時かつ根本的に解決するため、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs (Sustainable Development Goals) は、2030年に達成され、SDGsの理念が世界的に定着します。

6. 基本構想と施策体系



基本構想

目標年度 2028年度

基本目標	施策目標	将来像
<p>1.いつまでも住み続けたい安全・安心なまち</p> <p>【生活環境】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○防災対策の推進 ○消防・救急体制の強化 ○防犯・交通安全対策の推進 ○環境衛生の充実 ○環境対策の推進 	<p>地域でつくる「人・自然・文化」の調和輝く未来へ繋ぐまち・弥富</p>
<p>2.笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち</p> <p>【健康・子育て・福祉】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援の充実 ○高齢者支援の充実 ○健康づくり・医療体制の充実 ○障がい者支援の充実 ○地域福祉の充実 	
<p>3.心豊かで文化を育む人づくりのまち</p> <p>【教育・文化・スポーツ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育の充実 ○生涯学習の充実 ○スポーツの振興 ○文化・芸術の振興 ○青少年の健全育成 	
<p>4.人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち</p> <p>【産業・雇用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○農水産業の振興 ○商工業の振興 ○観光の振興 ○雇用対策・勤労者福祉 ○消費者保護の充実 	
<p>5.良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち</p> <p>【都市基盤】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○上下水道の充実 ○道路・交通網の充実 ○治水対策の充実 ○市街地の整備 ○公園・緑地の充実 ○住環境の整備 ○港湾地域等の整備促進 	
<p>6.市民と行政がつながり、共につくるまち</p> <p>【協働・行財政】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○持続的な行財政運営 ○市民協働の推進 ○男女共同参画の推進 ○人権啓発等の推進 ○多様な主体との交流・連携の推進 ○コミュニティの強化 ○情報の共有 	

基本構想の実現に向けて

7. 基本目標別課題の抽出と施策への展開

基礎的調査や市民ニーズから、前期基本計画からの施策の追加と修正する項目を掲げています。

基本目標Ⅰ【生活環境】

【1-1 防災対策の推進】

- 発災時の公助を最大限生かすため、自分の命は自分で守る意識を醸成し、インクルーシブ防災の考え方のもと、地域住民でお互いに支え合える体制づくり。啓発活動による危機意識の向上。
- 南海トラフ地震や線状降水帯等による局地的豪雨による浸水被害を防ぐため、地域のつながりや自主防災組織等共助の意識を醸成するための教育体制強化。
- 日頃から災害に備える意識を醸成するため、防災関係機関や市民と協働した防災訓練の実施。
- デジタル化の促進によって、事前登録された市民に災害に関するプッシュ型の通知を送る。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、自主防災会で実施した防災訓練が以前に比べ激減した。地域の連携、防災意識の向上を図るべく活動支援を実施しているが、更なる共助防災対策確立のための支援が必要。
- コロナ禍により困難となっていた、自主防災組織の連携も含めた市全体の防災訓練の実施。
- 特に水害（津波、洪水）を想定した実動訓練を増やす。
- 従前の、仕方なく行うものではなく、楽しく体験でき防災スキルが向上する仕組みを取り入れた、イベント型防災訓練の実施。
- 災害時、身体障害者や妊婦、幼児等が最低限ストレスなく過ごせるような体制が特別とられていないと見受けられる。
- 災害発生時に備え、行政、医師会、病院等の役割分担を明確にしておく。

【1-2 消防・救急体制の強化】

【1-3 防犯・交通安全対策の推進】

- 免許証を返納しても高齢者等が安心して買い物や通院等の外出ができるよう、交通弱者が利用しやすい公共交通の確保。
- 産学官連携などによるAI・IoT・MaaS（「Mobility as a Service（モビリティ・アズ・ア・サービス）」の略称で、鉄道・バス・タクシー・旅客船・旅客機・カーシェア・シェアサイクルなど複数の交通機関のサービスをひとつのサービスとして結び付け、人々の移動を大きく変える概念）、CASE（Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動運転）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）の頭文字）などの未来技術やサービスを活用した交通対策の取組支援と導入を検討。

【1-4 環境衛生の充実】

- 浄化槽の法定検査受検率が依然として低いため、更なる啓発の推進。
- ポイ捨て条例の制定検討。

【1-5 環境対策の推進】

- 環境に関する取組のための指針の策定。

基本目標2【健康・子育て・福祉】

【2-1 子育て支援の充実】

- 物価高騰、コロナ禍で、国の子育て支援が新生児・低所得者を中心としているため、30代女性の転出超過、生産年齢層の転出が多い本市は、独自に子育て世帯を支援。乳幼児など子どもの預け先を多く整備し、職場復帰のしやすいまちとして若い世代の流入推進を図る。
- 子育て世代が孤立しないよう、集いやすいイベントや場所の提供、赤ちゃんの駅（授乳やおむつ替えができるスペース）の設置。
- 転出防止、子育て支援のために、様々な角度からの支援策の展開とともに、SNS等やDX推進により、市の魅力等の継続的な情報発信。
- 子育て支援に結婚から妊娠、出産までの相談窓口を分かりやすく、SNS等で発信。
- 利用者ニーズに沿った運営とするため、育休退所の廃止、土曜日の終日保育を導入。保育所、児童クラブ、児童館の開所日・利用時間の拡充。放課後の子どもの居場所づくりを推進。
- 市民ニーズと行政改革の観点から、公立保育所の民営化を推進し、入所者に多様な選択肢を提供。
- 多様化する子育て世代のニーズに対応するため、多種多様な幼稚園の参入促進。

【2-2 高齢者支援の充実】

- 高齢者の活躍、生きがい、暮らしが成り立つまちづくり。
- フレイル・サルコペニア・オーラルフレイル予防による健康寿命の延伸。

【2-3 健康づくり・医療体制の充実】

- 発症した場合、どの病院に行けば、どのような治療がされるのか、市民が知っておきたい情報の発信。
- 市民一人ひとりの日常的な健康管理を支えるかかりつけ医・歯科医・薬剤師の普及。

【2-4 障がい者支援の充実】

- グループホームの確保。
- 障害者ボランティア会員の育成。

【2-5 地域福祉の充実】

- 福祉制度にかからない間（ハザマ）の人への支援。
- ボランティアの楽しさ、魅力をもっとアピールしてボランティアの認知度を高める。

基本目標3【教育・文化・スポーツ】

【3-1 学校教育の充実】

- 悩みごとをいつでも相談できるよう、小中学校の相談体制を充実。
- 文部科学省の指針に則り、地域移行する運動部活動継続のため、外部指導者等の確保、家庭の金銭的負担、教員の働き方改革、スポーツクラブの振興等の課題解決。
- 社会の多様化に対応できる教員を育成するため、学校施設の整備、教師の職場環境の改善、働き方改革。
- 市教育方針に則り、一学年複数クラス維持や男女比率の適正化のための小中学校の再編推進。
- 企業誘致により、外国人就労者が増え、学校現場で日本語が話せない生徒も増加しているため、学習・相談等の多言語対応。
- 通学路の点検・見直しにより、時間帯で通行できるよう配慮。

【3-2 生涯学習の充実】

- 市民ニーズを踏まえた生涯学習集推進計画の策定。
- 親子が安心して利用できる空間・雰囲気を作ると共に、利用者目線での図書館の運営。

【3-3 スポーツの振興】

- 市民ニーズを踏まえたスポーツ振興計画の策定。
- 子どもから 2026 年アジア競技大会等を契機としたスポーツ選手の発掘・育成、新たな分野への挑戦等、スポーツの振興。
- 市外から集客可能な大規模イベントが少ないため、スポーツを活かした仕組みづくり。

【3-4 文化・芸術の振興】

- 歴史・文化等の魅力を磨き、外部に発信するための仕組みや豊かな心の育成のための仕組みづくり。

【3-5 青少年の健全育成】

- スマートフォン等の違法・有害情報の氾濫、不適切な利用によるトラブルの防止。

基本目標4【産業・雇用】

【4-1 農水産業】

- 農業経営構造的に、新規参入の困難性、低収益性、業務の非平準化の課題解決のため、圃場の集積化農業事業の法人組織化、スマート農業化、6次産業化。
- 農業の担い手育成・確保を始めとした農業振興と農業基盤整備。農業への新規参入者の育成。
- DX化をリードする新たな産業育成のため、庁舎の空きスペースや空き家の有効活用。
- ICT を活用した農業を実現するためのインフラ整備。●弥富市と周辺地域の農産物の販売（アピール）スポットの新設。
- 金魚・文鳥等の特色ある地場産業に意欲のある人材を集めるため、空き家・耕作放棄地等を活用。
- 生産技術の向上、後継者育成、PRの取組など金魚養殖の振興。
- 金魚養殖の後継者不足による経営体減少への支援。

【4-2 商工業】

- 新たに起業する方や、第二創業を検討している方への支援、起業後の支援の充実。
- 「弥富ブランド」として、金魚や文鳥などを活用した新商品を開発し、拠点・販売・検証を一貫して行う仕組みづくり。
- 弥富市の農商エビジョンの確立。

【4-3 観光の振興】

- 新たな観光資源の創出、既存資源のブラッシュアップにより、観光資源を活用したまちづくりの推進。
- まちなか交流館や弥富金魚水族館等の交流拠点の活性化のため、ハード・ソフトの環境整備。
- 弥富市民や市外から訪問する人が必要な、弥富のあらゆる街情報が集約され、発信される拠点づくり。観光・市民交流に関しても、気軽に立ち寄れる場所としてまちなか交流館内の組織が有機的に一体となった施策の展開と、市としての発信戦略や広報戦略の司令塔となる位置づけ確立。

【4-4 雇用対策・勤労者福祉・消費者保護の充実】

- 高齢者や障害者、女性の雇用拡大のための「仕事斡旋コンビニ」などの設置・運営。
- 高年齢者の就業機会が確保できる体制づくり。
- 市営のコワーキングプレースの設置。

基本目標5【都市基盤】

【5-1 上下水道の充実】

- 水道水の質の確保と継続。節水の呼びかけ。水道料金の仕組みの理解促進。
- 汚水処理の未整備箇所の整備促進。

【5-2 道路・交通網の充実】

- 免許証を返納しても高齢者等が安心して買い物や通院等の外出ができるよう、交通弱者が利用しやすい公共交通の確保。
- 産学官連携などによるAI・IoT・MaaS（「Mobility as a Service（モビリティ・アズ・ア・サービス）」の略称で、鉄道・バス・タクシー・旅客船・旅客機・カーシェア・シェアサイクルなど複数の交通機関のサービスをひとつのサービスとして結び付け、人々の移動を大きく変える概念）、CASE（Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動運転）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）の頭文字）などの未来技術やサービスを活用した交通対策の取組支援と導入を検討。
- 狭隘な道路など救急車が通れる道路幅を確保。
- 一宮西港道路の早期整備促進。
- 広い歩道に、ポケットパークなどの整備。

【5-3 治水対策の充実】

- 液状化マップの普及。

【5-4 市街地の整備】

- 駅周辺の活性化のため、駅前周辺まちづくり事業等を推進。名古屋駅への良好な鉄道アクセスのポテンシャルの最大限活用。
- 名物となる飲食店等が少なく、それを目的とした市内外の訪問者が集まらないことへの対応。（駅前周辺まちづくり）
- 駅前整備事業に絡めて大型商業施設、オフィスビル、宿泊施設、診療所等の誘致。
- 弥富市の玄関となる弥富駅の開発において、触れ合い・交流の場所の創出。
- 佐古木駅の改修と周辺の活性化。
- 駅前開発と既存商業施設との共存。
- 佐古木駅の改修と周辺の活性化。
- 駅周辺の、市の無料駐輪場の拡充。

【5-5 公園・緑地の整備】

- 駅周辺への公園・広場の整備。

【5-6 住環境の整備】

- 空き家所有者の都合（相続による権利複雑化や土地への愛着）を踏まえ、転入促進、転出防止のための住環境の再整備。
- 転入者増のために、他の自治体がない、弥富市独自の行政サービスや住環境の整備。
- 駅周辺だけでなく、均衡のとれた地域の発展。

【5-7 港湾地域等の整備促進】

- 雇用確保、税収アップに繋げるため、将来性の高い優良企業の誘致を推進。
- 伊勢湾岸自動車道沿線において、物流センターが相次いでオープンするなど、物流企業立地のポテンシャルが高まっており、さらなる企業立地の促進により、新たな雇用の場の創出。
- 親水空間・交流空間の充実に向けた要望活動の継続。
- ポートアイランドの利活用について関係機関への要望継続。
- 木曽岬干拓地の都市的土地利用の促進。
- 釣り場減少に伴い、魚釣り公園の整備

基本目標6【協働・行財政】

【6-1 持続的な行財政運営】

- DXの推進により、手続きのデジタル化・オンライン化等の環境づくりを進め、行政のスリム化を図る。
- デジタル化の推進に伴い、高齢者等の情報格差の拡大を防ぐため、ゆっくりと相談できる体制の整備。
- 協働の受け皿となる市職員の人材育成。
- 市職員の多様性確保。
- 風通しの良い組織づくり。
- 行政のダウンサイジング化、公の施設等のマネジメント推進。
- 市政改革としての『選択と集中』を進める。
- 弥富に誇りを持ち、思いやりのある人を育てるシビックプライドの醸成。
- 公共施設の再配置、海翔高校の廃校、十四山と南部学区の統合による学校跡地の有効利用。

【6-2 市民協働の推進】

- 地縁関係、NPO等団体、オンライン上の繋がり等、時代の推移に沿った、協働のあり方検討。
- 目的に応じて協働する主体を変え、活動が相互にとって有益となる形づくり。
- 市民参加の推進による協働の担い手育成。
- 協働意識の醸成のため、協働を推進するコーディネーター的役割の人材の発掘・育成。
- 市の公共施設で、営利目的によるマルシェ等の開催

【6-3 男女共同参画の推進】

【6-4 人権啓発等の推進】

- 人権問題に関する相談窓口の周知。
- LGBTQ+の考え方の普及。

【6-5 多様な主体との交流・連携の促進】

- 大学や企業のCSR活動との多様な主体との新たな連携。
- 学生時代から市政に関わることにより、市・市役所に親近感の醸成。
- 市イベント等を通じたやとみ応援団の育成。
- 多様な属性、個性、ニーズを持った住民がそれぞれ「生きやすい」と感じられるような地域を、多様な主体（民間企業、市民団体、NPO等）の参画のもとで創出するとともに、シティプロモーションを行い、地域の魅力のブランド化を行う。
- 新たに設置された名古屋競馬場と連携した賑わいづくり。

【6-6 コミュニティの強化】

- 長い歴史で培われた自治会やコミュニティ等の地域の繋がりを、より良い形で次の世代に引き継ぐ。

- 地域コミュニティのリーダーの育成や新しい人材の発掘。
- コロナ禍で行事が縮小されているので、それに代わる、さまざまな世代が交わることができる場の創設。
- 各学区コミュニティ推進活動を団体やNPO等が支援する体制づくり。

【6-7 情報の共有】

- 市役所活動をより多くの市民に知ってもらい、身近な市役所としてのPR活動。
- IoT 整備を行い市民に対して素早い情報提供。情報共有の手段の拡充。
- 弥富市が目指すところを言語化して発信。
- 弥富市の強み・弱みを可視化し、分かり易くアピール。
- 施策のパッケージ化により、移住者、子育て世帯などに情報が届きやすくなるような施策展開。
- 手続きのオンライン化やAI・RPAなどの新たな未来技術の活用によるデジタル化の推進を図り、迅速で的確な行政サービスの提供と業務の効率化を推進。
- 標準化法に基づき、基幹系 20 業務をガバメントクラウドに移行。その他の業務についても標準化・クラウド環境化を検討。
- 市民の声、職員を市長が直接聴く仕組みづくり。

